

東京都 すくわくプログラム

活動報告書

2025年度

はぐはぐキッズ二葉

introduction
introduction
introduction

“ 1 . 活動のテーマ

テーマ【環境】

◆わくわく広がるテラスあそび

◆じっくり選べる室内あそび

introduction
introduction
introduction

“テーマの設定理由”

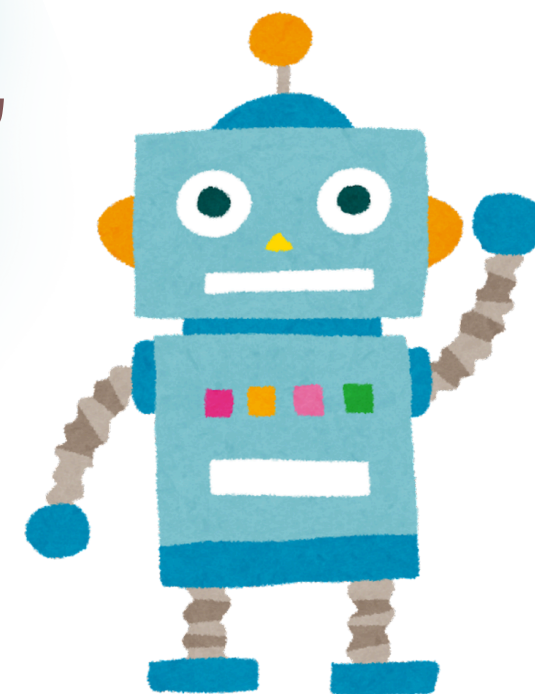
◆わくわく広がるテラスあそび

戸外での遊びが好きな子が多いことから、離れた公園に行かなくても保育園で十分満足できる環境を整えていきたいと感じました。子ども達が「公園にいるみたいだ！」と感じ、テラスに心躍らせて夢中で遊ぶ姿を見てみたいという思いが強くなりました。



◆じっくり選べる室内あそび

多彩な玩具と出会ったり触れたりする中で、夢中になれる遊びを見つけ、1つの遊びを深めてもらう為子ども達一人ひとりに寄り添った玩具の提供を始めました。



introduction
introduction
introduction

“

2. 活動のスケジュール

【話し合い】

- 各クラスの担任が集まって話し合い、今のクラスの子どもにとってどのような刺激のある用具が必要か話し合う。

【実施】

- 毎日の継続的な活動となるよう、特定のスケジュールを立てずに実施する。

【共有】

- 毎月の各クラスのクラス会議にて保育ウェブを作成しているため、子どもの好きな遊びや子ども同士の繋がり、異年齢の交流についてを共有する。
- 園内に掲示したり、おたよりで配信したりし、保護者への共有をした。

【継続】

- 園内係で役割を分担し、定期的にテラスの環境を変えて新鮮な気持ちで楽しめるように務める。
- 突然の室内活動や雨の日でも充実した活動を行えるよう、静と動の活動ができる玩具を提供したり各クラスの職員へアドバイスをしたりする。

のびのび遊ぶ

集中して遊ぶ

遊びを工夫する

子どもの姿

環境

テラス遊び

室内遊び

好きな遊びを見つける

常用玩具

平均台

ボール

テラスでの遊びが好きになる

玩具収納ケース

防災マット

玩具を自由に取り出せる

友だちの遊びを真似する

異年齢での関わりが増える

水遊び玩具

パズル

友だちと関わる

シャボン玉

ブロック

砂場

絵本

玩具を組み合わせて遊びを発展させる

キッチン

ままごと玩具

遊びが充実する

“ 3 . 活動のために準備した 素材や道具、環境の設定

購入品一覧

ままごと

- なんでもおんぶひも
- 着せ替えだっこ人形・洋服
- 着せ替えだっこ人形・お布団セット
- フレッシュサラダセット
- みんなで作ろう！ままごと
バーモンドカレーセット
- 磁石でくっつくおままごと
アイスクリーム6名セット
- 磁石でくっつくおままごと・ハンバーグ
- 磁石でくっつくおままごと・
お寿司たっぷりセット
- 磁石でくっつくおままごと・野菜と果物
- 磁石でくっつくおままごと・
アイスクリーム
- ままごとプレイヤーテーブル
- ままごとキッチンコンパクトテーブル

室内玩具

- センサーパズルマット
- やわらかいハイハイマット お星さま
- やわらかいハイハイマット みんなの街
- やわらかいハイハイマット やさしい街
- 折りたたみプレイマット
- アニマルステッカーコンテナBOXセット
- LaQ00
- 遊べるジャバラパネル2枚組
- 玉当て名人フレーム
- 玉当て名人 赤・黄・専門球
- 無地バラ風船
- 木製パズル3枚セット
- 動物パズル10枚組
- デュプロ

購入品一覧

絵本

- アイデアいっぱい紙制作
- みんなのきもちが分かるかな？おもいやりの絵本
- 図鑑 はじめての絵画
- 図鑑 鉄道
- 図鑑 科学の実験
- 図鑑 危険生物
- 図鑑 新版 魚
- 図鑑 恐竜
- 図鑑 大昔の生物
- 図鑑 飼育と観察
- 図鑑 カブトムシクワガタムシ
- 図鑑 野菜と果物
- 図鑑 NEO音楽
- カラーモンスター きもちのきゅうきゅうばこ
- バートン乗り物絵本
- 10かいだてのおひめさまのおしろ
- おばけのやだもん だいすき！ソフトクリーム
- バスブubber
- はいちーず
- おもちさんがね
- チャレンジミツケ
- 5回で折れるともっと楽しい！折り紙
- 紙芝居ベストセレクション
- 0・1・2さいののりもの100

戸外用具

- 水遊び噴水マット
- みずでっぼう
- 森の腰掛けチョウチョ
- キッズスポーツカー
- ステップ2かにさんサンドボックス
- アイリスオーヤマワイドストッカー
5個セット
- お砂場サンド
- オードクリン スプレータイプ・補充用
- ミカサ スマイルサッカーボール
- ミカサ てんてんまり黄・赤・桃
- ポップアップサッカーゴール
- 3ステップハードル

introduction
introduction
introduction

“

4 . 探究活動の実践

“

5 . 振り返り

Flowerクラス（0歳児）

『室内遊び』

< 準備物 >

- やわらかいハイハイマット お星さま
- センサリーパズルマット
- 無地バラ風船
- なんでもおんぶ紐
- 着せ替えだっこ人形



< 内容 >

- ・ おんぶ紐やマット等を使って、人形の世話をする。
- ・ 風船の素材や感触を楽しむ。
- ・ やわらかハイハイマットやセンサリーパズルマットの上を歩いたり触ったりすることで、五感の一部を養う。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・ふうせんを追いかけてハイハイをした。
- ・歩けるようになるとふうせんを天井に吊るしてふうせんが揺れる様子も楽しんでいました。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・ハイハイマットの上では、人形の寝かしつけやままごとをして遊ぶ。
- ・マットのハイハイをしたり、保育者と一緒にふれあいあそびも行っていた。
- ・センサーパズルマットの上を歩いて感覚の違いを楽しんでいた。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

ずりばいやハイハイをするようになり、マットを用意したことで安全にのびのびとずりばいやハイハイが活発に行えるようになった。また、ふうせんを用意すると手を伸ばして触ろうとしたり追いかけてハイハイをしたり目で追ったりしていた。マットや風船を使い、身体の発達を促せたと思う。成長していくにつれ、マットの上で保育者とふれあいあそびをした経験から、赤ちゃんの人形を寝かしつけたり人形にふれあいあそびをしたりする姿が見られるようになった。ままごとやブロックあそびなどの様々なあそびのコーナーとしても使用していた。マットがあることでコーナーを分けやすく好きなあそびをゆったり行うことが出来た。感触あそびが好きなことから、センサーパズルマットを用意した。センサーマットの感触に慣れて来るとテラスの芝生が苦手だった児も嫌がることなく遊べるようになった。足裏が刺激されたことにより、踏ん張る力やバランス力を養うことにつながったと思う。

Moon・Snow

『机上遊び』

< 準備物 >

- 動物パズル10枚組セット
- 木製パズル
- 0、1さいののりもの100
- はいチーズ
- バスブザー
- おもちさんがね
- おばけのやだもん だいすき！ソフトクリーム
- バートンのりもの絵本
- アニマルステッカーコンテナBOXセット

< 内容 >

- ・ 室内活動や自由遊びの際に行う。
- ・ 絵本を読んだりパズルを読んだりすることで集中力を養う。
- ・ ピースと土台を見ながら、正しい位置に置き完成させる。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・ 集中して取り組んでいた。
- ・ 難しいところは、保育者や友だちに教えてもらおうとする。
- ・ 少しずつ絵が出て来ることに喜び、完成を目指そうとする。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・ 完成品の写真を収納ファイルに貼ることで、写真を見ながら取り組もうとする姿が見られた。また、イメージが湧きやすくなり、難しいものにも意欲的に挑戦しようとしていた。
- ・ 遊びの持続が難しく、様々な玩具で遊んでいた児は、一定時間集中して取り組むことができるようになった。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

机上遊びを取り入れたことで、集中力が養われたり、指先の発達を促したりすることができた。今まで車やブロックなどの床での遊びが多かったため、今後も机上遊びを取り入れていく。

Moon・Snowクラス (2歳児)

『室内遊び』

< 準備物 >

- 着せ替えだっこ人形・洋服
- なんでもおんぶひも
- 着せ替えだっこ人形・お布団セット
- 磁石でくっつくおままごとアイスクリーム
6名セット
- デュプロ
- やわらかいハイハイマットやさしいまち
- やわらかハイハイマットみんなのまち

< 内容 >

- ・人形やアイスクリーム、おんぶ紐等を使って、ごっこ遊びを行う。
- ・人形の服を着せ替えることで、手先の発達を促す。
- ・デュプロ遊びを通して、想像力を養ったり友だちとの関わりを楽しんだりする。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・人形遊びでは、お母さん役になり赤ちゃんの世話を楽しんでいました。
- ・赤ちゃんやアイスクリームなどでごっこ遊びをした。
- ・デュプロでは、集中して家や車を作った。
- ・アイスクリームでは、アイスを積み上げたり食べる真似をしたりと1人で遊ぶことを楽しんでいました。
- ・マットがあることで、コーナーに分かれて落ち着いて遊んだ。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・他にも皿やミルクの玩具等を提供したことで、「ご飯ですよ」「ねんねしようね」等、会話を楽しみながら遊ぶようになった。また、友だちとお母さんやお姉さん役に分担し、家族ごっこも楽しんでいました。
- ・ごっこ遊びを通して、実際に年下児にも優しく接する姿が見られるようになった。
- ・アイス屋さんを行い、保育者が店員役をしたことで、子ども同士で店員と客に分担し遊ぶようになった。「何にしますか?」「いちごアイスで」と、活発にやり取りを楽しんでいた。
- ・作品を使ってごっこ遊びが展開された。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

最初は1人遊びが主だったが、保育者が店員役や客役をしたり、一緒にブロックで遊んだりすることで、次第に子どものみで遊びが展開されていった。また、購入したものと合わせて既存の玩具も提供したことで、さらに遊びが広がった。今後子ども達の興味のあるものを取り入れて、保育者も加わりながら遊んでいきたいと思う。

Star (3歳児)

『ごっこ遊び』

< 準備物 >

- みんなでつくろう おままごと
- バーモンドカレーセット
- 磁石でくっつくおままごとハンバーグ



< 内容 >

- ・食育でクッキングを行ってから、ブロックを食べ物等に見立てて遊ぶ姿が見られていたため、おままごとセットを購入。
- ・おままごとセットで、店員と客役に分かれてごっこ遊びを行う。
- ・「いらっしゃいま、何にしますか?」「お会計はカードですか?」「カレーをお願いします!」等、自分が経験したことを遊びに活かす。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・ 店員役と客役に分かれてごっこ遊びを楽しんでいた。
- ・ 野菜を切ったり、鍋で炒めたり等、食育・クッキングで経験したことを実践した。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・ 友だち同士や保育者と役決めを行い、レストランやスーパーなどの店を想像しながらごっこ遊びを楽しんでいた。また、既存のままごとセットと合わせて使うことで、カレーセットとして作ったり食べたりすることを楽しんでいた。
- ・ ごっこ遊びを通して、「いらっしやいませ、何にしますか？美味しいですか？」等、言葉のやり取りが盛んに行われた。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

実際にルーや野菜等があることで、経験したことをよりリアルに表現することができると感じた。また、日常生活での何気ない経験が、遊びに活かされたり、発展したりするため、今後も子ども達の言動や好きな遊び等を見逃さないようにしていく。

Cosmos (4歳児)

『コーナー保育』

< 準備物 >

- 選べるジャバラパネル2枚組
- LaQ00



< 内容 >

- ・ ジャバラパネルを使って、コーナー遊びの空間を作る。
- ・ LaQ00を使って、車や家を作る。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・ 自分で遊びたいコーナーを見極め、落ち着いて遊び込む。
- ・ 小さいLaQで遊び慣れていた為、大きいLaQ00に期待感を持っていた。
- ・ 一緒に車や家を作ったり、作ったものを友だちと見せ合ったりする。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・ 小さいLaQでは、作品で遊ぶよりも飾るのみのことが多かったが、LaQ00が増えたことで、作った乗り物を走らせやすくなり、競争したり一緒に一つのものを作り上げたりしていた。
- ・ パーテーションをマットにすることで、コーナー保育のようになり、集中して遊ぶことができた。
- ・ パーテーションは朝の視診にも使用している。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

パーテーションを購入し、コーナーを作ることで、落ち着いて室内で過ごすことができるようになった。刺激を受けやすい児は、遊び込むことが難しい姿が見られていたが、同じ遊びを長い時間継続できたり、翌日遊びの続きをしたりする様子を見て、コーナー保育の大切さを実感した。園の構造上、常にコーナー保育を作っておくことが難しいため、今後もしたりしまったりできるパーテーションを活用していきたい。

Cosmos・Rainbow 『図鑑・紙芝居・絵本』 (4, 5歳児)

< 準備物 >

- 図鑑 (絵画 , 科学の実験 , 危険生物 , 魚 , 恐竜 , 大昔の生物 , 飼育と観察 , 野菜と果物 , NEO音楽 , カブトムシクワガタムシ)
- 絵本 (カラーモンスターきもちのきゅうきゅうばこ , 10かいだてのおひめさまのおうち , チャレンジミツケ , 5回で折れるともっと楽しい ! 折り紙 , 紙芝居ベストセレクション , アイディアいっぱい紙制作 , みんなのきもちが分かるかな ? 思いやりの絵本)

< 内容 >

- ・ 紙芝居や絵本を見る。
- ・ 思いやりの絵本を通して、人との関わり方を学ぶ。
- ・ 紙制作や折り紙の絵本を通して、廃材遊びが充実する。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・ 図鑑や絵本を読み、友だちや保育者と内容を共有したり共感したりした。
- ・ 制作や折り紙の絵本を見ながら、真似て作ろうとする。
- ・ 制作や折り紙の絵本を通して、分からないところは教え合ったり、完成させた達成感を味わったりしていた。
- ・ 思いやりの気持ちの絵本を読む中で、優しい気持ちや言葉を自分達で考えた。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・ 図鑑を読んでいたことで、散歩先で動植物を発見した際、得意げに教える姿が見られたり、知っている知識を披露したりしていた。また、食べ物（食べ物図鑑）にも興味を持ち、苦手な食材にも挑戦しようとした。
- ・ 保育者が、絵本の作品からさらに付け加えてみるのはいかがでしょうか提案したことで、イメージを沸かせながら作る姿が見られた。
- ・ 思いやりの絵本を通して、友だちに優しく伝えようとしたり、「絵本に書いてあったよね！」と思い出したりする姿が見られた。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

- ・ 絵本や図鑑を提供したことで、知識が増えたり戸外活動に対してより期待感を持つことができた。戸外活動にも持参することで、子ども達の興味や関心がさらに広がるのではないかと。ぜひ実践したい。
- ・ 幼児全体的に口調が強い傾向にあったが、思いやりの絵本を読んだことで、絵本の内容を思い出しながら関わろうとする姿が見られ、成長を感じた。引き続き定期的に読む機会を設けていきたいと思う。

Cosmos・Rainbow

『おままごと』

< 準備物 >

- ままごとプレイサークル
- ままごとキッチンコンパクトテーブル
- フレッシュサラダセット
- 磁石でくっつくおままごとお寿司たっぷりセット



< 内容 >

- ・ おままごとコーナーを作る。
- ・ 食べ物で料理をしたり、食べたりなどごっこ遊びを行う。
- ・ 「いらっしやいま、何にしますか？」 「お会計はカードですか？」 「お寿司をお願いします！」 等、自分が経験したことを遊びに活かす。

○ 活動中の子どもの姿・声

- ・初めてCosmos、Rainbowクラスにおままごとコーナーができ、喜ぶ姿が見られる。
- ・ごっこ遊びが盛んに行われ、友だちとのやり取りを楽しむ。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・複数の食べ物を準備したことで、寿司屋やレストラン等、様々なごっこ遊びが展開された。また、ショッピングバックを準備したことで買い物に行く真似やお母さんになりきる姿が見られた。
- ・ごっこ遊びを通して、実際に買い物に行きたいとの声が聞かれたため、5月頃に行く予定である。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

机上遊びを取り入れたことで、集中力が養われたり、指先の発達を促したりすることができた。今まで車やブロックなどの床での遊びが多かったため、今後も机上遊びを取り入れていく。また、実際に買い物に行く予定も立てることができた。

Star、Cosmos、Rainbowクラス (3歳児～5歳児) 『玉当てゲーム』

< 準備物 >

- 玉当て名人フレーム
- 玉当て名人 赤・黄・専門球



< 内容 >

- ・ チームに分かれて対戦し、勝った嬉しさや負けた悔しさなどを味わう。
- ・ 雨の日や室内活動を充実させる、満足感を味わう。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・初めて行う遊びに期待感を持ちながら楽しむ姿が見られる。
- ・投げた球体がフレームについた喜びを友達や保育者に共有する。
- ・雨天時でも身体を動かすことで、発散することができる。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・最初は玉を投げて球体につく様子を楽しんでいたが、チーム戦にしたことでより盛り上がりを見せていた。また、友達と協力したり勝った嬉しさや負けた悔しさなどを味わったりした。
- ・Starクラス（3歳児）は、天井から吊し少し低く設定したことで、楽しむことができた。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

最初は球体がフレームにつくことに対して喜んでいましたが、勝敗があるゲームにしたことでより楽しむことができた。また、フレームを使わないことで乳児クラスも楽しむことができ、工夫次第で様々なクラスを対象とすることができた。雨天時も身体を動かして遊び、十分に発散したため、今後も取り入れていけると良い。

Snow、Star

『運動遊び』

Cosmos、Rainbowクラス

(2歳児～5歳児)

< 準備物 >

- ミカサ スマイル サッカーボール
- ミカサ てんてんまり黄・赤・桃
- ポップアップサッカーゴール
- 3ステップハードル



< 内容 >

- ・サッカーを通して、勝敗のある遊びを楽しむ。
- ・ボール遊びを通して、保育者や友達との関わりを楽しんだり身体を動かす心地よさを味わったりする。
- ・ハードル遊びを通して、粗大運動を楽しむ。



○ 活動中の子どもの姿・声

- ・ワールドカップが開催されていたことで、すぐにルールを理解しながら楽しむ姿が見られた。選手の名前も聞かれ、憧れを持っているようだった。
- ・ボールを投げたりキャッチしたりと、友達や保育者との関わりを喜んでいた。
- ・ハードルでは、友達と競争したり、跳ぶことができることを得意げに知らせたりしていた。

○ 子ども同士や保育者との関わり

- ・サッカーは、最初は全員でゴールに向かってボールを蹴るのみだったが、サッカーを習っている児がルールを教えてくれたことで、ゴールキーパーとフィールドプレイヤーに分かれて遊ぶ姿が見られた。
- ・ボールを投げたりキャッチをしたりすることで、「ちょうだい」と手振りで伝えるようになった。
- ・ハードルでは、3段回形や高さを変えられることで、様々な動きを経験することができた。室内戸外共に遊ぶことが出来るため、遊びの幅が広がった。

○ 振り返りによって得た職員の気付き

身体を十分に動かす活動や遊びを取り入れたことで、室内でも発散することができた。梅雨期や夏季など、室内遊びが多くなる時期でも十分に身体を動かせるよう、工夫していきたい。

ハードルは3段階に高さを変えられることで、乳児から幼児まで幅広く遊ぶことができる。粗大運動を促すにはとても良い遊びだと思う。

ありがとうございました

「すくわく」での活動を通し、子どもたちは環境に自発的に関わり、
豊かな経験を積むことができました。

これは遊びの発展のみならず、心身の健康に関する領域に関しても、
身体的・精神的発達を促し、健康な心と身体をバランスよく育む
プロセスそのものであったと考えます。

本制度の活用成果を今後の保育実践の充実にしっかりと繋げてまいります。

はぐはぐキッズニ葉